

タイトル：『ゴージャスお宝  
鑑定家〜う〜ん、ゴージャ  
ス！』18』

## 登場キャラクター

### 1. 剛田（主役）

ゴージャスな店主。すべてのシーンに登  
場し、物語の中心人物。

セリフが多く、派手な所作で観客を  
引きつける。

### 2. 白金（相棒）

実務派の見習い鑑定士。剛田の言動  
に振り回される。

ツッコミ役で、剛田との掛け合いが中  
心。

### 3. 老紳士（依頼人）

スピネル鉢を持ち込む顧客。静かなが  
らも重要な役割を担う。

剛田にとって「品物の物語」を語るき  
っかけを与える。

#### 4. 強盗 A/B (事件のきっかけ)

コメディ調の悪役。スピネル鉢の光によって敗退する。

登場は短時間だが物語の中盤で緊張感を提供。

#### 5. 警察官 (脇役)

強盗の逮捕シーンで登場。細かい台詞は少なめ。

#### シーン：豪華な朝 (詳細版)

(朝の陽光が、剛田質店のステンドグラスを通して鮮やかな虹色の光を店内に落とす。壁には西洋甲冑や絵画、豪華な宝飾品が飾られている。白金は狭いカウンターに座り、帳簿を見ながら肩を落としている)

#### 白金

(大きなため息をつきながら)

「赤字が毎月増えるなんて、どうやったらこんな店経営できるんだ…。まさに奇跡。」

（奥から、剛田の豪華な靴音が響く。まるで舞台俳優のように堂々と登場する剛田。黄金のティーカップを片手に優雅に歩く）

**剛田**

（ティーカップを高々と掲げ、キラリと光らせながら）

「おはよう、白金くん！今朝の紅茶の香りはどうだね？ゴージャスの極みを感じるだろう！」

**白金**

（顔をしかめて剛田を見る）

「いや、剛田さん、ティーカップの話じゃなく…。そもそも、そのカップ、また新しいのじゃないですか？」

**剛田**

（満足げにカップを眺めて）

「その通り！これはルイ<sup>15</sup>世時代の特注品。皇族が使用したと言われる一品だ！」

白金

（皮肉を込めて）

「はあ、じゃあ、今度はそのカップを質入れしたらどうです？赤字の埋め合わせに。」

剛田

（驚愕の表情を浮かべ）

「なんたる暴言！このカップに込められた歴史と品格を理解しないとは…！」

（剛田が大げさに胸に手を当て、店の中央で劇的なポーズをとる）

剛田

「白金くん、覚えておくがいい。ゴージャスたるもの、心と日常に輝きを宿すことが使命だ。」

## 白金

（冷やかな目で剛田を見つめながら）

「はいはい、その『輝き』のせいで電気代が跳ね上がってますけどね。」

---

## シーン2：老紳士の登場（詳細版）

（入口のベルが軽やかな音を響かせる。店内に冷たい空気が流れ込み、老紳士が重厚な佇まいで現れる。彼の腕には布で覆われた何かが抱えられている）

### 老紳士

（穏やかな口調で）

「ごきげんよう。剛田さん、ぜひこの品を見ていただきたく参りました。」

（剛田が老紳士を見るなり、その表情に尊敬の色を浮かべる。彼は近寄り、相手の持つ包みをじっと見つめる）

剛田

(低い声で)

「……この包みの中から放たれるこの圧倒的な気配！」

白金

(呆れながら)

「剛田さん、それ、物理的には無理ですよ。何も出てないです。」

(老紳士がゆつくりと布を外すと、スピネル製の赤い植木鉢が姿を現す。光が反射して店内が赤い輝きに包まれる)

剛田

(息を飲み、鉢に触れる)

「これは……スピネル製の盆栽鉢！しかも、この赤の深み……！」

(白金が鉢を覗き込みながら)

白金

「えっと、ただの植木鉢ですよね？ちょっとキラキラしてるだけの。」

剛田

（振り返り、熱く語り始める）

「ただの植木鉢だと？このスピネルの輝きは何を意味するのか分からんのか！これは再起と希望の象徴。人生を照らす灯火なのだ！」

（老紳士が微笑みながら椅子に腰掛ける）

老紳士

「実はこの鉢、私の祖父が戦後のどん底の中で手に入れたものなのです。」

（老紳士が語り出すと、店内の照明が少し暗くなり、回想シーンのような雰囲気に変わる）

シーン③…スピネル鉢の物語（追加描写）

（祖父が荒れ果てた庭に立ち、初めてスピネル鉢を使って盆栽を手入れしている様子が映し出される）

祖父

（鉢を撫でながら）

「この鉢はただの容れ物ではない。この赤い輝きが、人々の心に希望を与えてくれるのだ。」

（若き老紳士が不思議そうにそれを見つめている）

若き老紳士

「でも、ただの石に見えるよ？」

祖父

「物の価値は外見だけで決まるものではない。この鉢を使うと、どんな植物も元気に育つ。そして、その光景が人々を癒すのだ。」



(回想が終わり、現代の質店に戻る。剛田が深く頷いている)

**剛田**

(目を閉じて)

「やはり素晴らしい。これぞゴージャスたる品！」

**白金**

(鉢を触りながら)

「でも、結局これ、買い取るんですか？いくらで？」

---

## シーン④：実験、スピネル鉢の力を試す

(店の裏手にある庭。剛田が豪華なエプロンをつけて、スピネル鉢に小さな松の苗木を植えている。隣で白金がノートを片手に、不安げに見守っている)

剛田

（苗木に水を注ぎながら）

「さあ、これからこの苗木がゴージャスに変貌する様を見届けたまえ、白金くん！」

白金

（メモを取りながら）

「いや、普通の水を普通にあげてますよね。それ、どんな鉢でも一緒じゃないですか？」

剛田

（苗木に向かって両手を広げ、大きさに叫ぶ）

「違うのだ！この鉢は希望と再生の象徴。使うだけで植物が力強く成長するのだ！」

白金

（呆れた顔で）

「それなら、科学的根拠が欲しいところです  
ね……。例えば成長速度が何%アップする  
か。」

剛田

（白金のノートを指差し）

「ゴージャスな物には数字では表せない力があるのだよ。さあ、見守りたまえ！」

（剛田が丁寧に苗木の葉を撫で、さらにキラキラしたスプレーをかけ始める）

白金

（驚いた声で）

「ちよつ、それ何ですか！？ただの水じゃないですよね！」

剛田

（胸を張りながら）

「ゴージャス・エッセンスだ。スピネルの赤をイメージした特製栄養剤だよ。」

白金

（頭を抱えながら）

「そんなの用意してたんですか……。お金の無駄遣いがまた一つ増えましたね。」

---

シーン⑤：強盗乱入！

（突然、店の入口から荒々しい声が響く）

強盗 A

「動くな！金目の物を全部出せ！」

（黒いマスクをかぶった強盗二人組が銃を構えて入ってくる。白金は驚いて飛び上がり、剛田は一瞬動きを止めるも、冷静に振り向く）

白金

（慌てて）

「剛田さん！どうするんですか！」

剛田

（落ち着いてスピネル鉢を抱きしめながら）  
「白金くん、心配するな。この鉢が私たちを守ってくれる。」

強盗 ㊦

(鉢を見て)

「なんだその赤いの！高そうだな、それもよこせ！」

剛田

(毅然とした態度で)

「この鉢は渡さない。これはゴージャスの象徴、心の豊かさそのものだ！」

強盗 A

(呆れ顔で)

「なんだこいつ…。早くしろ、金目の物を出せって言ってるんだよ！」

(その瞬間、鉢から不思議な光が放たれ、店内が赤い輝きに包まれる。驚いた強盗たちは目をこする)

強盗 ㊦

「なんだこれ！？目が…眩しい！」

（強盗たちは混乱し、その隙に白金が店の裏  
口から警察に連絡する）

---

### シーンの…奇跡の盆栽

（警察が到着し、強盗たちは連行される。剛  
田と白金が鉢の前で立ち尽くしている。鉢の  
中の苗木が、異常なほど成長し、立派な松の  
木になっている）

白金

（松を見上げながら）

「これ…さつき植えたばかりですよね？どうし  
てこんなに成長してるんですか？」

剛田

（神秘的な声で）

「これがスピネル鉢の力だ。ゴージャスの具現  
化だよ、白金くん。」

白金

(半信半疑の顔で)

「でも、本当にそんなことが……。ただの偶然じゃないんですか？」

剛田

(静かに松の葉を撫でながら)

「偶然ではない。この鉢に宿るのは、人々の願いと希望。これがある限り、どんな困難も乗り越えられる。」

(その時、松の木がさらに輝きを増し、葉から小さな赤い光が溢れ出す。まるで祝福するかのように光が店内を照らす)

エピソード…輝きの未来

(翌日、店の外に行列ができている。噂を聞きつけた客たちがスピネル鉢の力を見ようと集まっている)

白金

（人々を見ながら、苦笑して）

「これ、まさか商売繁盛につながるなんて…。」

剛田さん、やりましたね。」

剛田

（満足げに微笑みながら）

「当然だ。ゴージャスたるもの、ただの物ではない。未来を切り開く輝きそのものだ。」

（店の前の松の木が再び光を放ち、集まった人々が歓声を上げる。剛田と白金がその光景を見つめながら、静かに微笑み合う）

幕閉じ

（店の上空をカメラが引いていき、松の木の光が夜空に溶けていく。輝く星空と共に、エンドロールが流れる）

終



## シーンと尺割り

### 1. シーン1: 豪華な朝(10分)

剛田と白金のキャラクター紹介。剛田のゴージャスな性格と、白金の現実的な性格の対比を描写。

- ー 剛田の華麗な登場
- ー 店の赤字を嘆く白金との掛け合い
- ー 豪華なティーカップの話題

### 2. シーン2: 老紳士の登場(15分)

スピネル鉢が持ち込まれる場面。老紳士がスピネル鉢の歴史を語り、剛田が興奮する。

- ー 老紳士の初登場
- ー スピネル鉢の魅力と物語を剛田が熱弁
- ー 白金のツッコミと疑念

3. シーン③:スピネル鉢の物語(10分)

老紳士の回想シーン。戦後の祖父とスピネル鉢のエピソードを描く。

- ― 昔の庭の風景
- ― 祖父と若き日の老紳士の会話
- ― 鉢が象徴する希望の物語

4. シーン④:実験、スピネル鉢の力を試す(15分)

剛田が実際に鉢を使って盆栽を育てる。コメディ要素が強く、剛田の派手な手入れ方法と白金の疑念が笑いを生む。

- ― スピネル鉢に植木を植えるシーン
- ― 剛田の独特な手入れ方法(ゴージヤス・エッセンスなど)
- ― 白金の冷静な観察

5. シーン5：強盗乱入！（10分）

店に強盗が入り、緊張と笑いのミックスシーン。鉢の不思議な力で強盗が撃退される。

ー 強盗たちの乱入

ー 剛田の毅然とした態度

ー スピネル鉢が光を放ち、強盗が動

揺

6. シーン6：奇跡の盆栽（10分）

強盗撃退後、鉢の中の盆栽が驚異的な成長を見せるシーン。スピネル鉢の力が完全に証明される。

ー 瞬時に成長した松の木

ー 剛田の感動的な演説

ー 白金の困惑と驚き

7. エピソード：輝きの未来（10分）

スピネル鉢の噂が広まり、店が繁盛する場面。松の木が最後に美しい光を放つ。

― 店の外に集まる人々

― 剛田と白金のやり取り

― 夜空に輝く松の木とエンドロール

---

計80分